

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成31年4月25日(2019.4.25)

【公表番号】特表2017-509712(P2017-509712A)

【公表日】平成29年4月6日(2017.4.6)

【年通号数】公開・登録公報2017-014

【出願番号】特願2017-501537(P2017-501537)

【国際特許分類】

A 6 1 K	9/26	(2006.01)
A 6 1 K	9/32	(2006.01)
A 6 1 K	31/137	(2006.01)
A 6 1 K	31/135	(2006.01)
A 6 1 K	31/5517	(2006.01)
A 6 1 K	47/32	(2006.01)
A 6 1 P	25/04	(2006.01)
A 6 1 P	25/24	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	9/26
A 6 1 K	9/32
A 6 1 K	31/137
A 6 1 K	31/135
A 6 1 K	31/5517
A 6 1 K	47/32
A 6 1 P	25/04
A 6 1 P	25/24

【誤訳訂正書】

【提出日】平成31年3月15日(2019.3.15)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0034

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0034】

「被覆リザーバ」という用語は、粒状内相がコアおよびその上の逆溶性ポリマーのコーティングを有するシステムを指す。「粒状内相」という用語は、被覆されていないかまたはアルコール誘発過剰放出耐性ポリマー(alcohol dose-dumping resistance polymer)で被覆された顆粒または凝集体またはペレットを包含することが意図されており、コーティングは粒状内相の一部と見なされる。しかし、コーティングは、律速性であるポリマーを含有するコーティングを含まない。例えば、逆溶性ポリマーのコーティングは、5.5より上のpHで律速性であり得る。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

乱用防止即時放出性被覆リザーバの形状の粒子であって、

i . 亂用されやすい薬物を含有するコアおよび前記コアを取り囲む逆腸溶性ポリマーを含有するコーティングを含む粒状内相、ならびに

i i . 粒状外相  
を含み、

前記逆腸溶性ポリマーがメチルメタクリレート、ブチルメタクリレート、ジメチルアミノエチルメタクリレートから成るか、メチルメタクリレートとジエチルアミノエチルメタクリレートのコポリマーであり、

前記粒状内相の前記コアがアルカリ化剤の第一の部分をさらに含み、

前記粒状外相がアルカリ化剤の第二の部分を含む、前記粒子。

【請求項 2】

前記乱用されやすい薬物が固体散体として前記粒状内相に存在する、請求項 1 に記載の乱用防止即時放出性被覆リザーバの形狀の粒子。